

進め方

須藤功平

株式会社クリアコード

リーダブルコード勉強会 in 筑波大
2015-07-04

この勉強会の目的

リーダブルコードに関して
↓の2つを知る・体験する

- ✓ どういうコード？
- ✓ どうやって書くの？

目的の理由

複数人開発では
リーダーブル
コードが
役に立つから

複数人開発

- ✓ 仕事での開発
- ✓ OSSの開発
- ✓ 1人でも年単位で続く開発
 - ✓ 去年の自分と今年の自分は同じ？

関係者紹介：企画

この場を作った人たち

- ✓ 横山さん
- ✓ 高杉さん
- ✓ 寺田さん
- ✓ 今川さん

関係者紹介：スポンサー

資金面で支援したみなさん

- ✓ クロノファクトリー
- ✓ SEゼミ
- ✓ アジャイルチームを支える会
- ✓ 筑波大学 enPiT

関係者紹介：メンター

みなさんのサポート

- ✓ 社会人
 - ✓ Ruby本体の開発者が混ざっている
- ✓ 筑波大学生
- ✓ 筑波大学院生

関係者紹介：トレーナー

進行と全体を気にかける係

- ✓ 須藤
- ✓ リーダブルコード（本）の「解説」の著者

この勉強会の目的

リーダブルコードに関して
↓の2つを知る・体験する

- ✓ どういうコード？
- ✓ どうやって書くの？

オススの目的の実現方法

OSSの開発に参加

(詳細は勉強会の最後で)

今日の目的の実現方法

- ✓ 「知る→体験する」の狙い
 - ✓ 説明→なるほど？（知る）
 - ✓ 実践→実感！（体験する）
- ✓ ↑の対象
 - ✓ どういうコード？
 - ✓ どうやって書くの？

どういうコード？

読む人が
読みやすいなら
リーダーブル

あなたのイメージは？

- ✓ 「誰も」リーダブルだと思っ
コードの書き方がある
(誤解を防ぐための補足: 「多くの人が」ならあるよ!)
- ✓ すべてのコードを↑な書き方で
書ける
- ✓ ↑ならリーダブルコード

違う！

- ✓ 他の方がリーダーだから
自分もリーダーだと
思わなきゃいけないじゃない！
(誤解を防ぐための補足：自分も思ったならそれでよい)
- ✓ ↑を勘違いしている人が多い

リーダーブルコード

読む人が
読みやすいなら
リーダーブル

本にはこう書いている

“コードは他の人が最短時間で理解できるように書かなければいけない。”

[「1章 理解しやすいコード p. 3」より引用]

他の人（読む人）が理解しづらい→本が目指しているものじゃない

リーダーブルコード

読む人が
読みやすいなら
リーダーブル

今日の目的の実現方法

- ✓ 「知る→体験する」の狙い
 - ✓ 説明→なるほど？（知る）
 - ✓ 実践→実感！（体験する）
- ✓ ↑の対象
 - ✓ どういうコード？
 - ✓ どうやって書くの？

どうやって書くの？

- ✓ 読む人のことを考えて書く
 - ✓ 読む人を「想像」は難しい
 - ✓ 読む人の「経験」がたくさんあると簡単
- ✓ 書くだけじゃなく読む経験を！
 - ✓ ただし、単に読む経験じゃない
 - ✓ 「読みやすい」の経験が大事

「読みやすい」の経験

- ✓ 「読みやすい」経験を再現
- ✓ →読む人が読みやすいコード

リーダブルコード！

知ったこと

- ✓ どういうコード？
 - ✓ 読む人が読みやすいコード
- ✓ どうやって書くの？
 - ✓ 読みやすかった経験を再現

実践だ！

実践方法の概要

コードを
読まざるを得ない
状況で開発

実践

1. 全員共通の課題を用意
2. 課題を実装
まだ読む人視点はないけどリーダブルコードで書く
3. 実装を交換
4. 交換した実装で開発継続
 - ✓ ↑他の人のコードを読まないと
継続して開発できない！
「読みやすい」経験を積む→
それを活かしてリーダブルコードで書く

今日の流れ - 午前

- ✓ 10:00- 進め方の説明
- ✓ 10:40- 実装
- ✓ 12:00- 無料ランチ
(SEプラスさん提供！)
- ✓ 13:00- ランチセッション

今日の流れ - 昼下がり

- ✓ 13:30- メビュー
- ✓ 13:40- チェンジして実装
- ✓ 15:30- グループふりかえり
- ✓ 16:10- ふりかえり内容紹介

メビュ-

- ✓ メビュ-? (Mentor's View)
 - ✓ レビュ-に似ているけど違-
 - ✓ レビュ-: 問題を見つける
 - ✓ メビュ-: メンターの視点を共有

今日の流れ - 夕方

- ✓ 16:20- まとめ
- ✓ 16:30- メビューー・質疑応答
- ✓ 17:00- アンケート記入
- ✓ 17:30- 無料懇親会